

日増しに暖くなる時節となりました。日頃は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。後期に児童や保護者の皆様からいただきました「学校評価アンケート」について、前期と後期を比較・分析し、次年度の取組の充実に向けて、推進すべき点や改善点に付きまして考察いたしましたので、ご報告させていただきます。

〈学校アンケート 後期 児童・保護者・教職員アンケート 評価結果〉

|    | 項目                         | 児童後期実現度      | 保護者後期実現度     | 教職員後期実現度     |
|----|----------------------------|--------------|--------------|--------------|
| 1  | 学校の学習はしっかりできている            | 93. 8(94. 3) | —            | 100(96. 0)   |
| 2  | 人の話をしっかり聞いている              | 89. 5(89. 1) | 93. 8(91. 7) | 93. 8(100)   |
| 3  | 自分の考えや意見を話している             | 69. 7(74. 4) | 90. 9(92. 4) | 82. 4(95. 9) |
| 4  | 家庭学習や宿題を自分から進んでしている        | 83. 6(87. 0) | 74. 6(74. 7) | 93. 8(90. 4) |
| 5  | 本をよく読んでいる                  | 75. 7(74. 8) | 36. 1(43. 3) | 82. 4(100)   |
| 6  | 忘れ物がないよう学習の準備をしている         | 86. 4(80. 0) | 79. 9(81. 3) | —            |
| 7  | 元気にあいさつをしている               | 79. 2(81. 6) | 93. 2(91. 3) | 100(100)     |
| 8  | 係り、当番や委員会活動を最後までしっかりしている   | 95. 0(93. 0) | —            | 94. 1(96. 2) |
| 9  | 学校のきまりや学校生活のルールを守っている      | 92. 4(92. 2) | 75. 5(78. 4) | 94. 7((100)  |
| 10 | 丁寧な言葉遣いをしている               | 80. 7(85. 1) | 63. 6(61. 5) | 79. 0(76. 9) |
| 11 | わからないことや困ったことなど、先生に相談している  | 76. 4(77. 3) | 59. 4(63. 3) | 94. 8(92. 3) |
| 12 | わからないことや困ったことなど、家の人に相談している | 83. 1(85. 1) | —            | —            |
| 13 | 自分も人も大切にしている               | 93. 4(94. 3) | 91. 1(88. 8) | 87. 5(95. 5) |
| 14 | 休み時間に外で遊んだり体を動かしたりしている     | 84. 2(79. 8) | —            | 72. 2(66. 7) |
| 15 | 早寝・早起き・歯磨きができている           | 83. 9(79. 9) | 77. 1(77. 3) | —            |

\* 実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値です。(%)

\* 児童のアンケート項目に沿って、評価を載せています。

\* ( )の中は前期評価の実現度の数値を載せています。

(アンケート結果より)

○「学校の学習はしっかりできている」では、児童の自己評価は前期とほぼ変わらない数値ですが、内容としてはよくできているとの評価が伸びています。自分はしっかり頑張ったと思えることが大切だと考えます。

○「ひとのはなしを聞いている」では、子どもの評価としては大体よくできているとの評価が約90%と前期とほぼ同じで、高い評価です。ご家庭でも子どもたちの話をしっかり聞いていることが、子どもの姿にも表れているのだと思います。

○「自分の考えや意見を話している」では、後期は児童の評価が下がっています。また「わからないことや困ったことなど、先生に相談している」でも、児童のあまりできていないとの評価が40%を越えており、前期よりも評価が下がっています。子どもたちが困ったことなどなんでも話ができる、時間的ゆとりや環境を整えていく事を大切にしなければいけないと考えます。

○「家庭学習や宿題を、自分から進んでしている」では、児童は前期よりもよくできているとの評価は高くなっています。また「忘れ物がないよう、学習の準備をしている」でも、児童はほぼ半数以上がよくできていると自己評価しています。しかしどちらとも、保護者の評価とは差があり、子どもへの期待も含め、保護者の基準と、子どもの思いに大きな差があるようです。また今後もご家庭と連携する中で、取り組んでいきたいと思います。

○「本をよく読んでいる」では、子どもは75.7%がだいたいできているとの評価ですが、保護者は36.1%と数値を下げており、子どもの評価と大きく差がみられます。学校では図書館の利用などに取り組み、読書の機会がありますが、家庭では機会が少ないためか、保護者の評価が低くなっているようです。

○「元気にあいさつをしている」では、児童については前期と同様約20パーセントがあまりできていない・できていないとの評価をしています。これからも、日常的にあいさつのできる関わりを大切にしていきたいと思います。

○「係り、当番や委員会活動を最後までしっかりしている」では、69パーセント以上の児童ができていますと評価しており、それも含めて90%以上がだいたいできているとの評価をしています。また「学校のきまりや学校生活のルールを守っている」では、児童は半数以上ができていますと評価しています。前期よりも少し数値が伸びており、自分の役割をしっかり果たすという意識や責任感を持ち、実践していける力を今後も大切に伸ばしていきたいと考えます。

## 保護者アンケートの記述欄

### ～子どもの社会性を育むにあたり大切にされていること～

- ・あいさつをちゃんとする。
- ・あいさつや手助けなど，言うだけでなく率先して行い子どもの見本になるようにしている。
- ・子どもの話をしっかり聞くようにしている。
- ・他人の気持ちを考え行動するよう，いつも話をしている。
- ・子どものやりたいことはチャレンジさせ，親は見守るようにしている。
- ・人の嫌がる事，自分がされて嫌なことは絶対にしない。
- ・今何をすべきか自分で考えられるように親がすぐに答えを出さないようにしている。
- ・家で決めた約束を守るよう心がけている。
- ・あいさつ・親切・辛抱・チャレンジ・笑顔・友達・規則正しい生活・お手伝い
- ・人の気持ちを大切にする。
- ・ありがとう・ごめんなさいを素直に言う。
- ・あなたは大切な人で誰もが誰かの大切な人であることを伝えている。
- ・親が友だちを選ばない。集団遊びを大切にする。いろんな友達とたくさん遊ぶ。
- ・約束を守る・嘘をつかない。
- ・目標を持って一生懸命，最後まで取り組む。またその結果ではなく努力を認める。
- ・買い物を一緒にし，物の価値観や必要・不必要，我慢を伝えている。
- ・家族のかかわりを大切にしている。
- ・小学生新聞を読むなど社会の洞察を深め家族で意見交換をしている。
- ・思いやりをもち，困った人に声をかけ優しい心で接する。
- ・物を大切にする。
- ・自分の考えをしっかりと持ち，それを伝えることができるようにする。
- ・自分で考えて行動する。また自分の言動に責任を持つ。
- ・子ども，大人に限らずたくさんの人と接するようにしている。
- ・家の用事はできるだけするようにして，経験して学ぶようにしている。
- ・自分勝手な行動は避け，優しく協力し合う。
- ・感謝の気持ちを大切にしている。



○たくさんのご意見をありがとうございました。同じようなご意見は，まとめさせていただいて載せています。ご了承くださいますようお願いいたします。

これからも保護者の皆様や地域の皆様と協力・連携し，桃山東小学校の教育活動を進めていきます。保護者の皆様には，お忙しい中，ご協力をいただき，ありがとうございました。学校ホームページにアンケート結果のデータを載せています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

- 「丁寧な言葉遣いをしている」では，約 20 パーセントの児童があまりできていないとの自己評価をしています。保護者のだいたいできているとの評価も約 60%にとどまっており，日常的に言葉の使い方について，丁寧に対応していくことを大切にしていきたいと考えます。
- 「自分も人も大切にしている」では，よくできているとの評価が約 7 0 %と自己評価が伸びています。保護者の評価も後期が高くなっており，今後も継続して，自分も人も大切にできる子どもの気持ちを家庭・地域と協力して育てていきたいと考えます。
- 「休み時間に外で遊んだり体を動かしたりしている」では，子どもの自己評価が上がっており，今後も積極的に体を動かしのびのびと遊べる環境を考えていきたいと思います。
- 「早寝・早起き・歯磨きができている」では，児童・保護者とも前期の評価とほぼ変わらない数値です。よくできているとの自己評価が伸びていくよう，今後も家庭と連携する中で，継続して取り組んでいきたいと思います。
- 教職員評価については全体的に高い数値が出ていますが，後期のほうがやや自己評価が低くなっている傾向にあります。児童・保護者評価とやや数値の違いがみられるため，その違いについて，背景も含め，見直しをする必要があると考えます。

## 〈学校関係者評価〉

学校運営協議会の理事様からご意見をいただきました。

- ・小学校は基礎になる時期であり，大切な時期である。あいさつなどは習慣として取り組んでいく事が大切。低学年の子どもは元気にあいさつしてくれるが，高学年になるにつれて，照れもあるのか評価が低くなっている。いろいろな地域の活動などで関わりがあると挨拶もしやすい様子が見られるので，様々な活動を通して地域全体でもあいさつのできる子どもを育てていく事が大切である。
- ・自分の考えや意見を話しているという項目が評価が低い傾向にある。もっと担任の先生と話ができる時間的ゆとりや環境を大切にしていける事が望ましい。またスクールカウンセラーや保健室の先生など，これからも，学校全体で子どもの話を受け止める場を作っていく事も大切にしてほしい。
- ・全体を通して極端に悪い評価は見られない。子ども自身が自分は頑張っていると思えることを今後も大切に取り組んでほしい。

